

◎議案第 1 号 平成25年度白老町一般会計補正予算（第3号）

○議長（山本浩平君） 日程第3、議案第1号 平成25年度白老町一般会計補正予算（第3号）を議題に供します。

提案の説明を求めます。

安達財政担当課長。

○総合行政局財政担当課長（安達義孝君） 議案第1号 平成25年度白老町一般会計補正予算（第3号）。

平成25年度白老町の一般会計予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,748万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ95億4,706万8,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出の予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の追加は、「第2表 地方債補正」による。

平成25年9月6日提出。白老町長。

よろしくご審議お願いいたします。

○議長（山本浩平君） 提案の説明が終わりました。

これより本案に対する質疑を許します。質疑があります方はどうぞ。

7番、西田祐子議員。

○7番（西田祐子君） 15ページの道路施設維持補修経費のことでお伺いいたします。長い間、町道の除雪ということで、維持補修委託料ということで除雪の最低保障制度ということなのですが、すけれども、前回、32企業で大体39台で25時間を計算しているということなのですが、この金額がどうのこうのということではないのですが、これを最低限にしたというのは、どのような形の中からこういうふうに決められたのか。その辺のことをもうちょっと詳しく説明していただければと思います。

○議長（山本浩平君） 岩崎建設課長。

○建設課長（岩崎 勉君） 除雪の最低保障の時間、25時間のことでありますが、近隣の市町村の状況も確認しております。それでいけば、大体20時間から30時間が最低保障の単位となっております。その中で、今うちの現況を調査しましたら、大体24時間くらいが平均でありますし、あと、重機の車検の値段を見ると大体23万円とかそういうものだったものですから、車検代と保険代を最低保障にしたいという形で、合わせて大体25時間という形で決めさせていただきました。

○議長（山本浩平君） 13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君） 15ページ、2点ほど伺います。まず、舗装道路補修委託料ですけど、

橋は長寿命化対策していますけれども、この道路の町道の延長かなりありますけれども、これらの長寿命化策は練っているかどうかということを聞きます。

それと、図書購入費です。これは内容を理解していますけれども、関連で白翔中学校の図書室、図書館、これらの整理がどのようになっているのか。各学校、虎杖、竹浦からの図書が移ってきて、いらぬ本は捨てる、新しいものは買う、一つになったことで冊数、規模、不足をしているのか。その辺の状況をちゃんともう整理して、子供たちが日常使えるようになっているのかどうか、その辺を伺います。

○議長（山本浩平君） 岩崎建設課長。

○建設課長（岩崎 勉君） 町道の長寿命化計画ということでございます。今やっているのは、橋梁と公園の長寿命化計画を策定させていただいています。その中で、今回、自民党政権に変わりましたから、いろいろと高速道路のトンネルの崩壊とかそういうことがありまして、今、維持補修に力を入れていただいている状況になります。その中で補助事業の一部として、そういう道路のストック調査とか、そういうものを補助採択メニューに上げていただくようなことになっていきますので、それに乗りながら、これからの町道の長寿命化計画を策定していきたいと思っています。それで、今考えているのは、できれば来年が間に合わなければ平成27年くらいからそちらの策定のほうに入っていきたいというふうに考えています。

○議長（山本浩平君） 五十嵐教育課長。

○教育課長（五十嵐省蔵君） ご質問のありました図書購入関係なのですが、この補正予算に載っている図書購入費というのは町立図書館の図書購入費です。ご質問の白翔中学校の関係ですが、白翔中学校については、ことし開校して、図書司書を含めて本の整理等を夏休みまでに行っておりますが、現状で冊数だとかの資料はきょう持ってきていないのでお答えできない状況であります。

○議長（山本浩平君） 13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君） 町道の長寿命化策を練っているか聞いたのは、今回の維持補修400万円が出ていますけど、この維持補修、職員は本当に大変だと思います。いろいろな苦情がきたり、対応したりするのに。予算のない中で。

それで、例を挙げると、私の町内会のすぐそばに、この春から何か月間で雨水ますの横がみんな陥没しているのです。その都度、町の職員に連絡して、コーンを立ててもらったりして、職員は一生懸命やってくれているのです。お金がないものですから、投げておいて非常に危険な状態もあると。これは多分、私の町内会だけではなくて全町的にあると思うのです。そういうものをやっぱり応急処置しなくてはいけないし、職員が本当に大変だと思います。対応するの。それで、今聞いたら27年ですけど、早くつくって、今11月までに行財政改革計画もできますから、その中から少しでも処置できるような考えをしてほしいと思います。だから、そちらの予算を新たにふやせという意味ではないですから。全体の中で調整をして、何が優先課題かということ整理していただかないと、ちょこちょこ400万円、また後で300万円ではなくて、トータル的に何が必要かということです。予算の枠の全体の何%はこういうことに使うのだと

いうことをやっぱり示していかないと、職員も場当たりの町民対応しかできなくなるのです。その辺を十分に考えて、ぜひ、やっていただきたいと思います、その点。

それと、図書については、冊数わからないと思いますが、やっぱり早急に。使える状況になっているのか、子供たちが。図書は調べ学習とかで、今、現状3か月たって、学習に支障があるのか、ないのか。そういう部分を聞いているのです。

○議長（山本浩平君） 岩崎建設課長。

○建設課長（岩崎 勉君） そういう形で陥没とかの対応がちょっと遅れているということは大変申しわけないと思っています。ただ、現状の中で、言われたとおり、予算をある程度いただいた中でそれなりに対応させていただいていると思っています。ただ、反対に業者さんが間に合わないでちょっと遅れるということはあるのですけれども、もう危険な箇所については、なるべく早くそういう対応をしようかなというふうに考えています。

あと、長寿命化策定を早くしたいと思っているのですけれども、ちょっとまだ国の制度がはっきりしていないものですから、その辺もうちょっとわかってから動き始めたいというふうに考えております。

○議長（山本浩平君） 五十嵐教育課長。

○教育課長（五十嵐省蔵君） 白翔中の図書の関係であります、白翔中については昨年から図書司書含めて本のリストを当然持っていまして、その整理をしております。それで、ことし、5月か6月だったと思うのですが、白老町の教育委員会の職員、それから、役場の職員もお願いしまして、本の移動等を終えて、現在では支障がなく生徒が使っている状況であります。

以上であります。

○議長（山本浩平君） 13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君） 長寿命化対策と道路の維持の関係ですけれども、今、課長、済みませんと言いましたが、何も謝ることはないのです。一生懸命やってくれているのです。逆に我々からすれば、職員大変だと思っています。それはやっぱり、理事者がもっとその辺を考慮するのが当たり前だと私は思っていますから。そういうことで、財政担当課長に伺いますけれども、今言った、維持補修の長寿命化対策を早急につくっていただいて、これからできる財政改革計画に反映できるかどうか、その辺だけ伺っておきます。

○議長（山本浩平君） 安達財政担当課長。

○総合行政局財政担当課長（安達義孝君） 今、作成しております新しい健全化計画ですけれども、非常に財源が乏しい中で、経常費のほうの範囲だと思われまので、道路事業については過去に行ったものがやはり傷んできて、これは全国的にそのような傾向が出ていますから、道路だけでなく、公園、橋梁含めて、どの程度この計画の中の財源として取れるのか、今の段階では述べることでできませんけれども、ある一定のものは確保しながら、当然、町民の皆さんの安心、安全につながることでございますので、何とかその辺は配慮して予算に組み込んでいきたいと考えております。

○議長（山本浩平君） 3番、斎藤征信議員。

○3番（斎藤征信君） 斎藤です。15ページのスクールソーシャルワーカーの件で1点伺いたいと思います。最近のいじめ不登校の状況はどういうふうに押さえられているのかということが1つ。

それから、スクールソーシャルワーカーが今までいろいろな活躍をされていると思いますが、そんな中でどのような成果を挙げられているのか。そのあたりを聞きたいと思います。

もう1つは、臨時事務職員の給与だと思いますけれども、これは年度当初では考えられない、何か変化があったということで押さえていいのかどうなのか。これだけの金額、何でこの補正になるのか。そのあたりはどうなっているのでしょうか。

○議長（山本浩平君） 五十嵐教育課長。

○教育課長（五十嵐省蔵君） いじめ不登校の状況であります。まず、いじめにつきまして、5月から6月にかけての調査の中では、本町においては該当というか、認定しているものがないという状況であります。

また、ソーシャルワーカーの状況であります。昨年の状況でいいますと、生徒の悩み等については、不登校に対しては8件、それから、家庭環境の問題で7人という対応をしております。また、訪問活動に関しましては、学校において15回、それから、家庭54回、教育支援センター30回というようなことであります。

補正のなぜこの時期ということなのですが、これにつきましては、道のほうの交付決定が8月までずれ込んだということで、今回の補正ということになっております。

あと、不登校の人数については、不登校ぎみということで、小学校で6名、それから、中学校で12名ということで押さえております。

以上です。

○議長（山本浩平君） 3番、斎藤征信議員。

○3番（斎藤征信君） わかりました。今、行動の回数や何かを聞いても相当大変な仕事だなと。おまけに大変な子供たちを扱う中で、このソーシャルワーカーは現在何人で、学校の教員上がりだと思いますが、平均したらどのくらいの年数でやっておられるのか。わかれば。

○議長（山本浩平君） 五十嵐教育課長。

○教育課長（五十嵐省蔵君） 勤務日数については、年間66日ということで予定しております。

それから、現在のソーシャルワーカーは1名、現在というか平成20年からやっておりますが、1人ということでやっております。それで、今いらっしゃる方は、ことし4月からで、元教員の方です。

以上です。

○議長（山本浩平君） ほかがございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第1号 平成25年度白老町一般会計補正予算（第3号）、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔挙手全員〕

○議長（山本浩平君） 全員賛成。

よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。